

kashiwazaki

柏崎の下水道



柏崎市上下水道局

1 下水道の役割

◆川や海を守る



川や海を汚している原因の多くは家庭などからの排水です。下水道が整備されると、家庭や事業所、工場などからの排水をきれいにしてから川や海などに放流

するので川や海を守ることができます。

◆トイレの水洗化

下水道が整備されるとトイレの水洗化が可能となり、衛生的で快適な生活を送ることができるだけでなく、し尿は下水とともに運搬され、下水処理場で効果的に処理されます。



◆生活環境の改善（汚水の排除）

生活排水がすみやかに排除されず、住宅周辺にたまると、カやハエ、悪臭などの発生源となり、周辺環境を悪化させます。下水道を整備することにより、生活排水がすみやかに排除でき、周辺環境の改善が図られます。



◆雨水排除



雨がしみこんだり、たまったりする田畑の宅地化が進んだため、降った雨がすぐに排水路などへ集まり、浸水被害がおりやすくなっています。これを解消す

るために、下水道は河川、水路、道路側溝などと同様に雨水の排除をしています。

2 柏崎の下水道

柏崎の下水道は、昭和49年3月に東本町や駅前といった市街地約214haの公共下水道の整備からスタートしました。昭和56年6月に安政町の自然環境浄化センターが供用を開始し、順次区域を拡大してきました。

一方、昭和55年10月に西山町西山地区において、農村下水道と言われる農業集落排水事業が開始され、農村部を中心に各地で整備が進められました。平成22年3月の西山町中川地区の事業完了により、ほぼ現在の污水处理区域になりました。こうして柏崎の下水道は、区域によって以下の2つに大別され、これら以外の区域については浄化槽による污水处理になります。



◆公共・特定環境保全下水道

市街地など都市化が進んだ地域や、良好な自然環境を有する海岸や河川の環境保全を目的とした下水道です。柏崎市では污水と雨水を分けて処理する「分流式」を採用しており、計画区域面積は柏崎処理区3,086ha、石地処理区67haです。また污水管の延長はそれぞれ443kmと26kmになります。

なお柏崎処理区では、污水处理だけでなく雨水排水路の整備や浸水対策なども行っています。

◆農業集落排水

農村地域の水質保全や生活環境の改善を目的に、旧柏崎市9地区、旧高柳町2地区、旧西山町4地区の計15地区で整備が進められました。全体で909.2haの計画区域面積、污水管渠の総延長は215kmになります。

それぞれの地区ごとに比較的小規模な処理場を建設し、付近の川や排水路などに処理水を放流しています。なお、事業を進めていく中で処理場の統合や、公共下水道への接続を行ったため現在の処理場数は15箇所です。



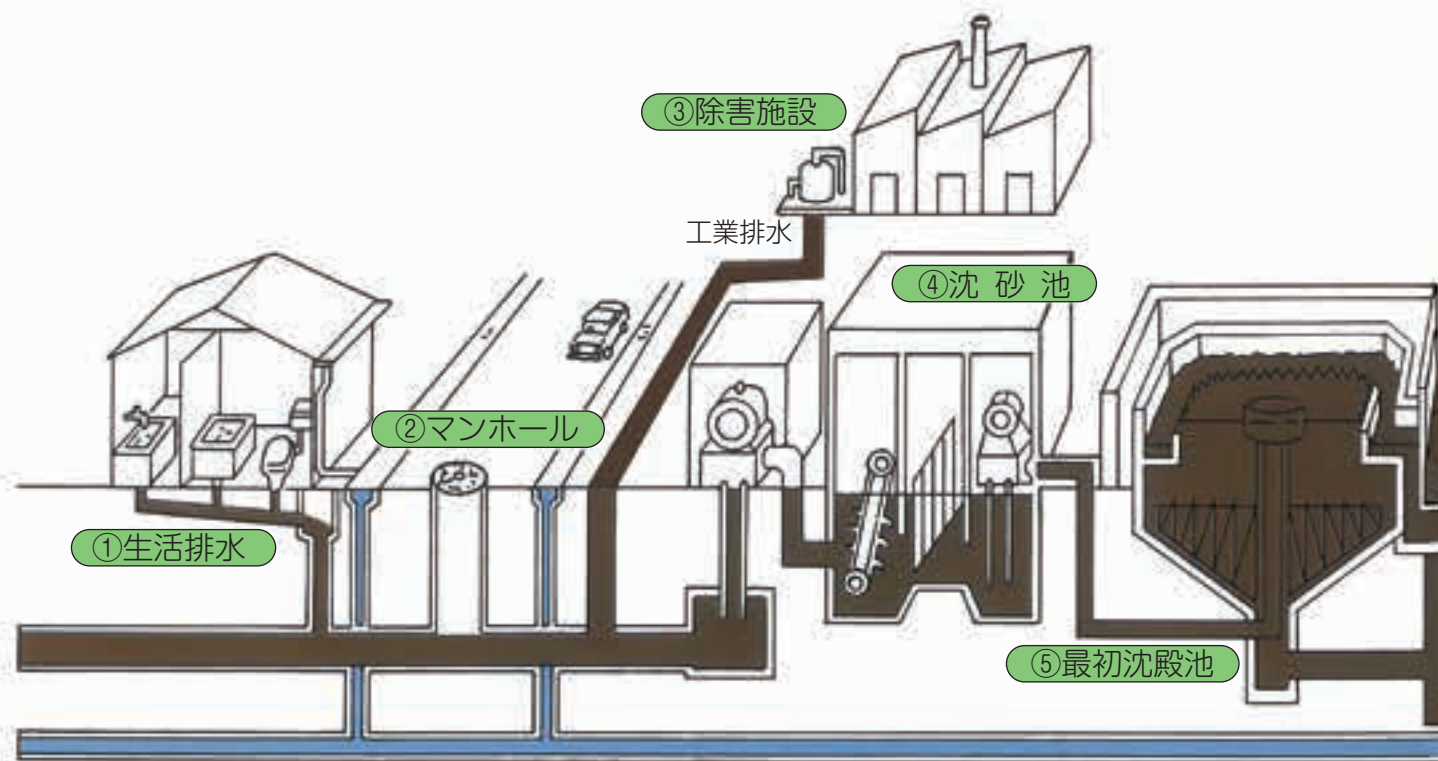
※数字は令和5年3月末現在

3 下水道のしくみ

下水道施設は大きく分けて次の3つの施設から成り立っています。

下水管（污水管・雨水管）

污水や雨水を集めて、污水は下水処理場へ、雨水は河川などに流す役目を持っています。柏崎市では污水管と雨水管を分ける「分流式」を採用しています。



①生活排水

家庭では台所や風呂、洗濯、水洗トイレなど日常生活で水を使います。使ったあとの污水は直接、污水管に入ります。

②マンホール

道路の下に埋設された下水管には、清掃や修理などの維持管理のために、出入り口としてマンホールが設けられています。

③除害施設

工場などから出る有害な物質を含んだ污水を污水管に流す前に、処理場の機能を妨げないように有害物質を取り除く施設です。

④沈砂池

污水管から流入してきた污水をゆるやかに流し、大きなゴミや土砂を取り除きます。

⑤最初沈殿池

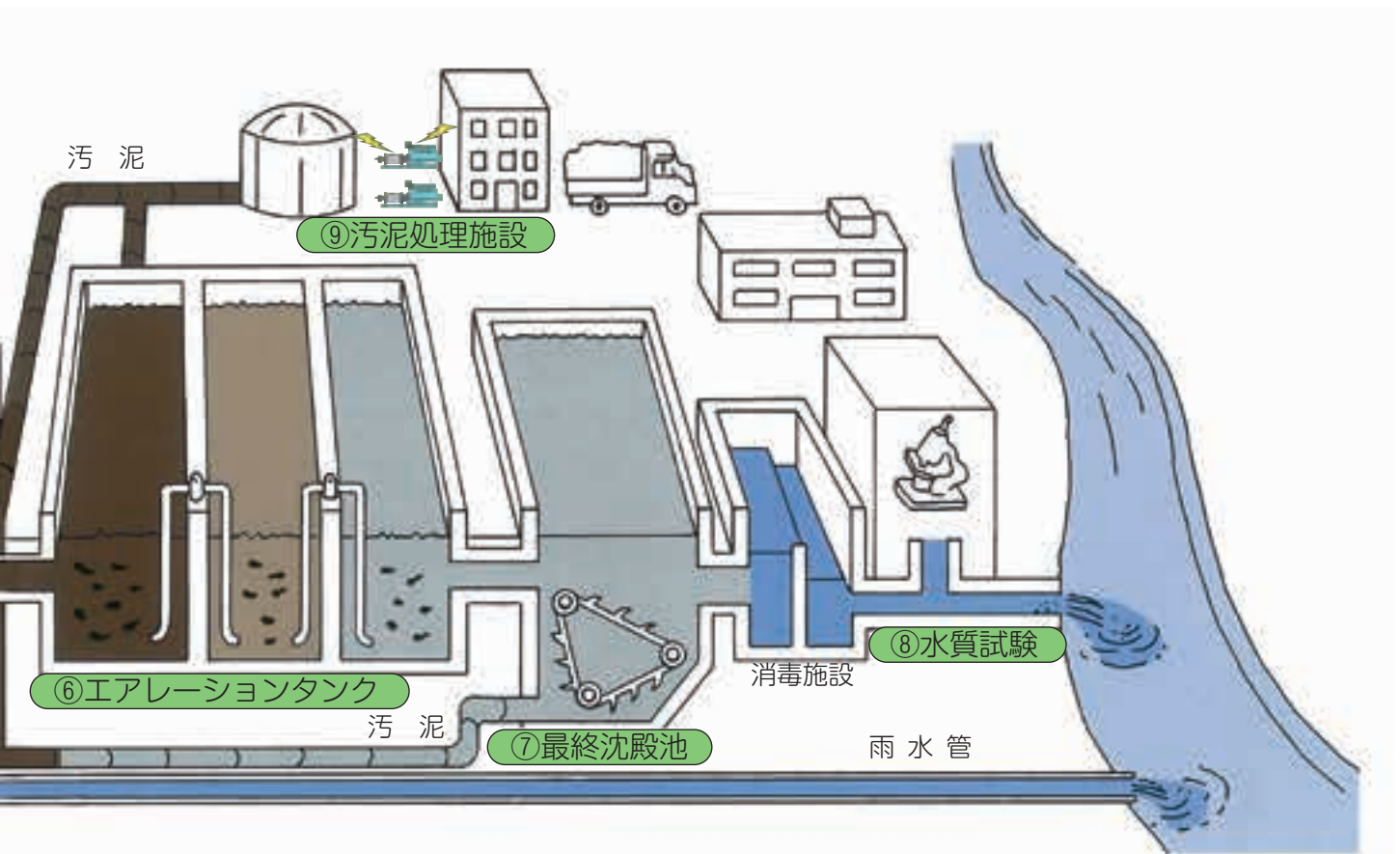
沈砂池から送られてきた污水をゆるやかに流して比較的沈みやすい浮遊物を沈殿させます。

中継ポンプ場

汚水管は、汚水を自然に低い方へ流すように埋設されていますが、地形の状況により、自然に流れない地帯では、中継ポンプ場を設けて汚水をくみ上げて、再び自然に流れるようにします。

下水処理場（終末処理場）

流れてきた汚水は、下水処理場できれいな水になり、川や海へ流されます。汚水がきれいな水に処理されるまでには、約 10 時間ほどかかります。



⑥エアレーションタンク

ここで、バクテリアなど（好気性微生物）を含んだ活性汚泥を加えて空気を吹き込み、汚水中の有害物を分解させ、汚れを一層沈みやすくします。

⑦最終沈殿池

沈みやすくなった汚れをもう一度沈殿させ、きれいな上澄み水は消毒して放流します。沈殿した活性汚泥は再びエアレーションタンクに送り、あまった汚泥は汚泥処理施設に送ります。

⑧水質試験

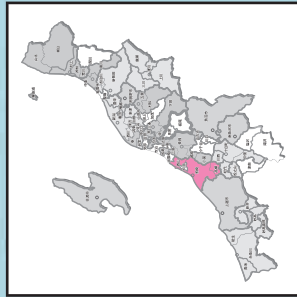
きれいになった水は、法令で定めた基準に適合しているか水質試験が行われます。

⑨汚泥処理施設

沈殿池の底にたまった汚泥は、ここに集められ濃縮して消化タンクに送ります。消化タンクで加温、かくはんしながら汚泥を半分に減らし、その時に発生する消化ガスを利用して発電を行います。

汚泥はさらに脱水により減量化され、処理業者から引き取ってもらい、セメントの原料や肥料として有効利用されます。

4 柏崎市下水道区域

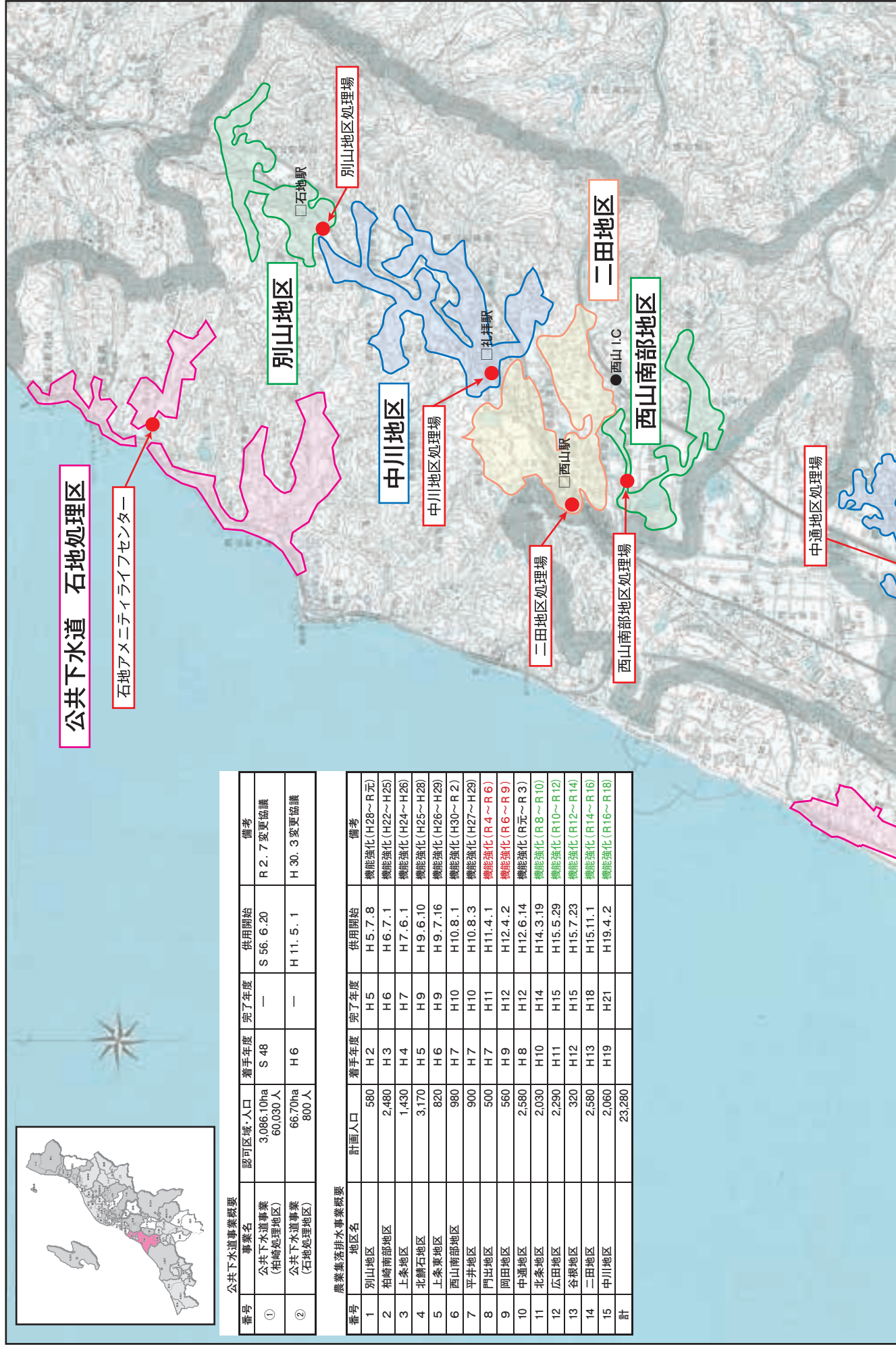


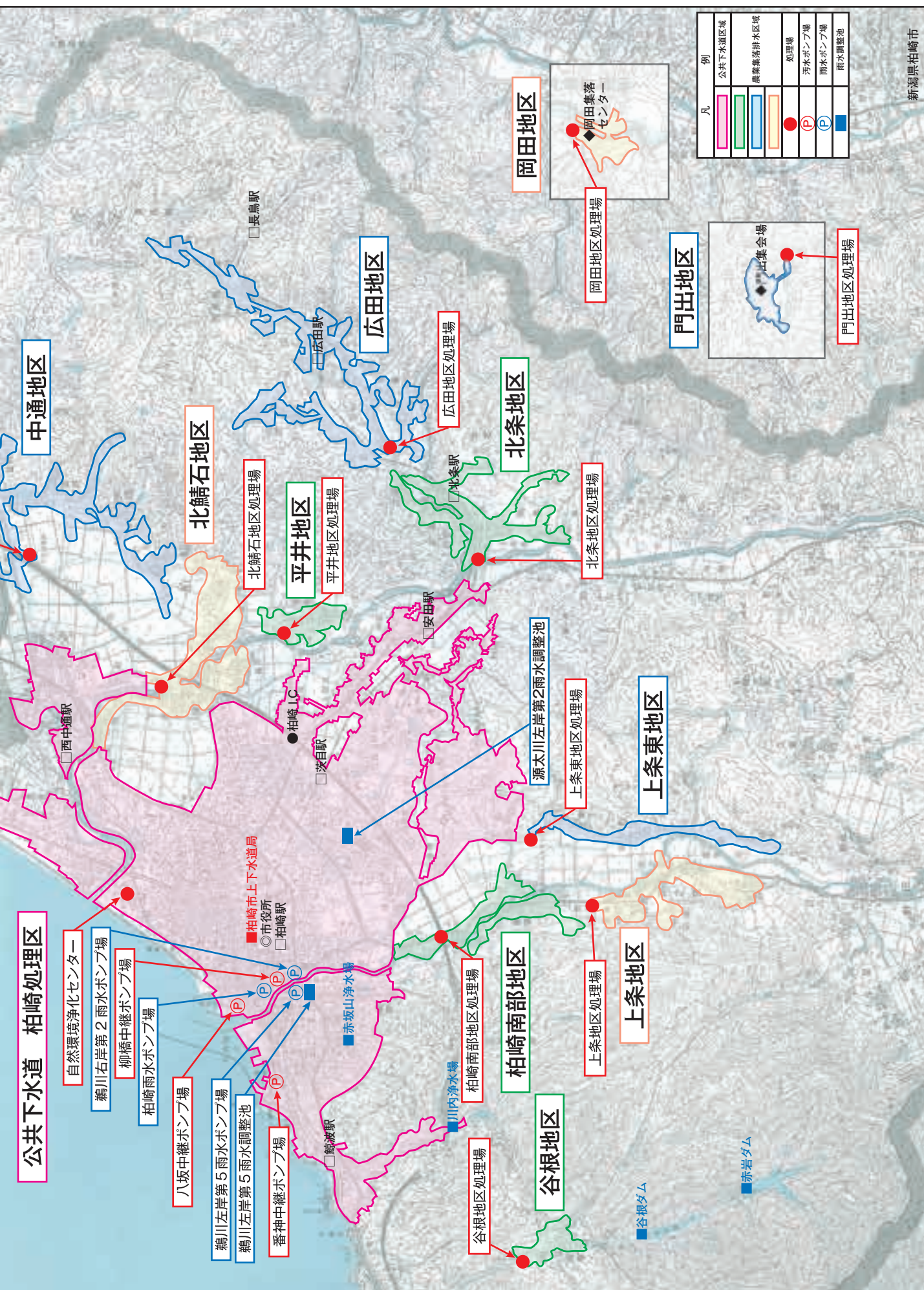
公共下水道事業概要

番号	事業名	認可区域・人口	着手年度	完了年度	供用開始	備考
①	公共下水道事業 (柏崎処理地区)	3,086.10ha 60,030人	S 48	—	S 56. 6. 20	R 2. 7 変更協議
②	公共下水道事業 (石地処理地区)	66.70ha 800人	H 6	—	H 11. 5. 1	H 30. 3 変更協議

農業集落排水事業概要

番号	地区名	計画人口	着手年度	完了年度	供用開始	備考
1	別山地区	580	H 2	H 5	H 5. 7. 8	機能強化 (H 28 ~ R 元)
2	柏崎南部地区	2,480	H 3	H 6	H 6. 7. 1	機能強化 (H 22 ~ H 25)
3	上条地区	1,430	H 4	H 7	H 7. 6. 1	機能強化 (H 24 ~ H 26)
4	北隼石地区	3,170	H 5	H 9	H 9. 6. 10	機能強化 (H 25 ~ H 28)
5	上条東地区	820	H 6	H 9	H 9. 7. 16	機能強化 (H 26 ~ H 29)
6	西山南部地区	980	H 7	H 10	H 10. 8. 1	機能強化 (H 30 ~ R 2)
7	平井地区	900	H 7	H 10	H 10. 8. 3	機能強化 (H 27 ~ H 29)
8	門出地区	500	H 7	H 11	H 11. 4. 1	機能強化 (R 4 ~ R 6)
9	回田地区	560	H 9	H 12	H 12. 4. 2	機能強化 (R 6 ~ R 9)
10	中通地区	2,580	H 8	H 12	H 12. 6. 14	機能強化 (R 元 ~ R 3)
11	北条地区	2,030	H 10	H 14	H 14. 3. 19	機能強化 (R 8 ~ R 10)
12	広田地区	2,290	H 11	H 15	H 15. 5. 29	機能強化 (R 10 ~ R 12)
13	谷根地区	320	H 12	H 15	H 15. 7. 23	機能強化 (R 12 ~ R 14)
14	二田地区	2,580	H 13	H 18	H 15. 11. 1	機能強化 (R 14 ~ R 16)
15	中川地区	2,060	H 19	H 21	H 19. 4. 2	機能強化 (R 16 ~ R 18)
計		23,280				





5 下水道施設【公共下水道柏崎処理区（污水）】



自然環境浄化センター



中央管理棟

柏崎市中心部の汚水をきれいな水に処理し鯖石川に放流しています。
また、汚泥から発生する消化ガスを利用し発電も行っています。

供用開始年月	昭和56年6月
計画処理人口	61,770人
日最大処理能力	40,700m ³ /日
処理方式	標準活性汚泥法



柳橋中継ポンプ場

柏崎駅周辺部からフロンティアパークまでの流入污水を中継し、処理場へ流送します。



供用開始年月	昭和56年6月
污水ポンプ	φ300mm×4.8m ³ /分×1台
污水ポンプ	φ300mm×8.0m ³ /分×3台



八坂中継ポンプ場

鵜川から西側の流入污水を中継し、処理場へ流送します。



供用開始年月	昭和56年6月
污水ポンプ	φ200mm×4.6m ³ /分×2台

【公共下水道柏崎処理区（污水）】



番神中継ポンプ場

番神、鯨波方面の流入污水を中継し、八坂中継ポンプ場へ流送します。



供用開始年月	平成元年1月
汚水ポンプ	φ150mm×1.8m ³ /分×3台

【公共下水道石地処理区（污水）】



石地アメニティライフセンター

西山町海岸部の污水をきれいな水に処理し大津川に放流しています。

また、海水浴場の水質保全のため、観光人口による污水流入の変動にも対応できる処理方式を採用しています。



供用開始年月	平成11年5月
計画処理人口	800人
日最大処理能力	1,200m ³ /日
処理方式	オキシデーションディッチ法

【公共下水道柏崎処理区（雨水）】

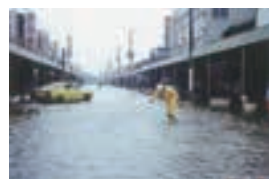


柏崎雨水ポンプ場

昭和53年6月25日から28日にかけて柏崎地方を襲った梅雨前線豪雨「6・26水害」により床上浸水1,153戸、床下浸水1,003戸と大変な被害が発生しました。これを機に、鵜川の大幅改修が行われました。しかし柏崎駅周辺は元々地盤が低く集中豪雨の度に鵜川に流れ込む塩込川・浜屋川が氾濫しました。そこで、この区域に流入する雨水を鵜川に強制排水をするため柏崎雨水ポンプ場を建設しました。



6.26水害 柏崎駅周辺の状況



供用開始年月	平成6年9月
計画処理排水量	1,354m ³ /分
雨水ポンプ	φ1000mm×148m ³ /分×2台
	φ1650mm×353m ³ /分×3台



鵜川左岸第5雨水ポンプ場



供用開始年月	平成24年3月
計画処理排水量	90m ³ /分
雨水ポンプ	φ600mm×45m ³ /分×2台



鵜川左岸第5雨水調整池



供用開始年月	令和5年11月
雨水貯留池	4,500m ³
排水ポンプ	4.77m ³ /分×2台

鵜川左岸常盤台地内の浸水対策のため、平成24年にポンプゲート式雨水ポンプ場を建設しました。更なる浸水被害軽減のために令和5年に公園の下に4,500m³の雨水を貯めることのできる地下式調整池を建設しました。

【公共下水道柏崎処理区（雨水）】



鵜川右岸第2雨水ポンプ場



供用開始年月	平成27年3月
計画処理排水量	18m ³ /分
雨水ポンプ	φ300mm×9m ³ /分×2台



鵜川右岸第2雨水調整池

雨水調整池	1,900m ³
排水ポンプ	4.77m ³ /分×2台

鵜川右岸柳橋地内の浸水対策のため、雨水ポンプ場を平成27年に建設しました。5年に1回程度降ると想定される1時間当たり41.9mmの降雨による被害を軽減するために新たに1,900m³貯めることのできる調整池を建設します。



源太川左岸第2雨水調整池



供用開始年月	平成30年3月
雨水調整池	5,500m ³
排水ポンプ	6.3m ³ /分×2台

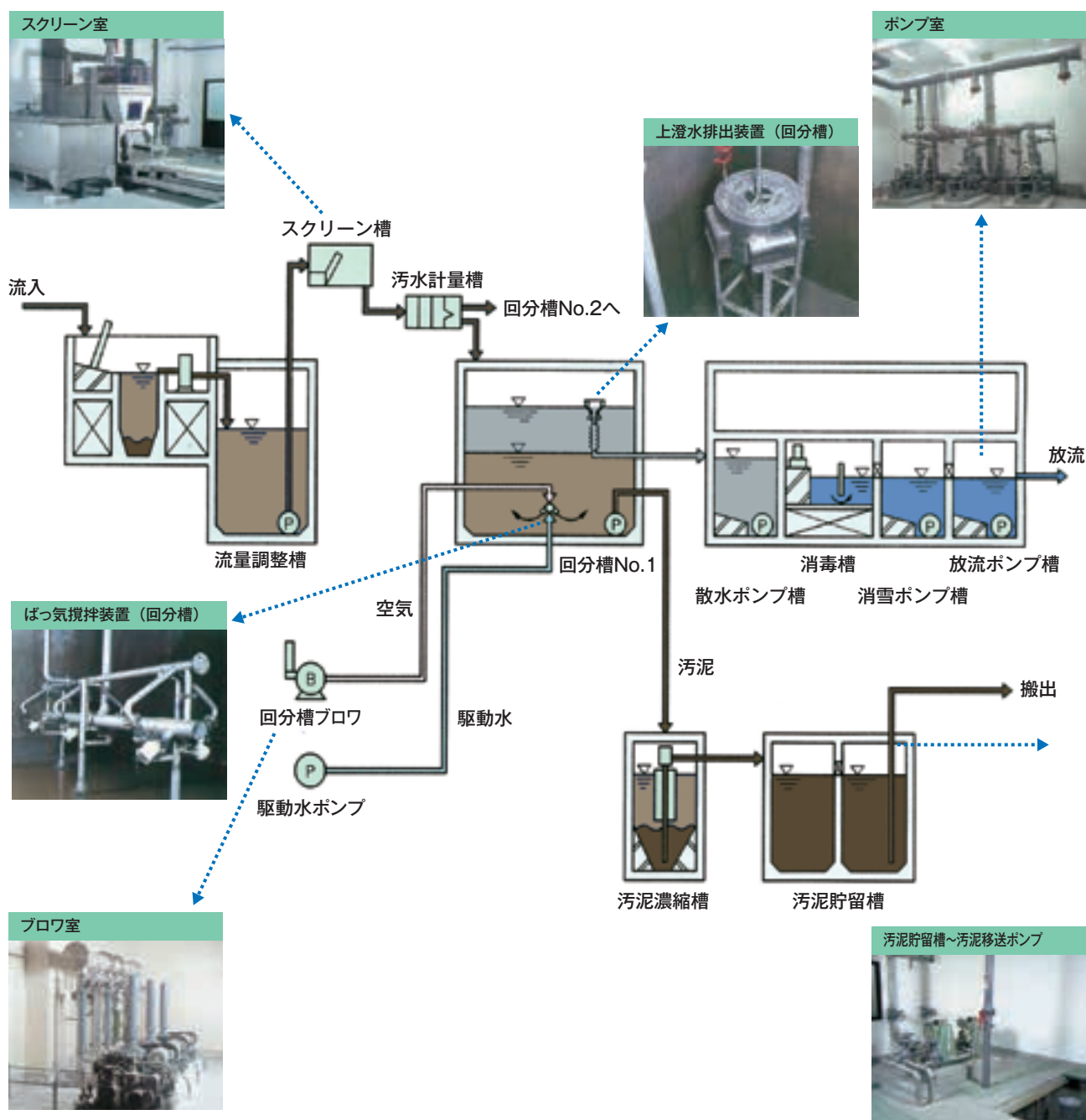


平成17年6月26日半田川氾濫による市道の冠水状況

半田小学校西側エリアの浸水対策として半田川の氾濫や市道の冠水を防ぐために5,500m³の雨水を貯めることのできる調整池を平成30年に建設しました。

農業集落排水処理場 汚水処理の流れ

農業集落排水処理場は、それぞれの区域ごとに比較的小規模な処理場を建設し、流入量に合った処理方式で処理しています。



【農業集落排水施設】



別山地区処理場

区域：西山町別山、西山町灰爪



供用開始年月	平成5年7月
計画処理人口	580人
日平均汚水量	157m ³ /日
処理方式	JARUS-XIV _R 型



柏崎南部地区処理場

区域：下方、上方、新道、貝淵、黒滝



供用開始年月	平成6年7月
計画処理人口	2,480人
日平均汚水量	670m ³ /日
処理方式	JARUS-XI型



上条地区処理場

区域：黒滝、上条、宮之窪、山口



供用開始年月	平成7年6月
計画処理人口	1,430人
日平均汚水量	387m ³ /日
処理方式	JARUS-XI型



北鯖石地区処理場

区域：中田、畔屋、上原、藤井



供用開始年月	平成9年6月
計画処理人口	3,170人
日平均汚水量	856m ³ /日
処理方式	オキシデーショondiッチ法



上条東地区処理場

区域：佐水、古町、上条、南下



供用開始年月	平成9年7月
計画処理人口	820人
日平均汚水量	221m ³ /日
処理方式	JARUS-XI型

【農業集落排水施設】



西山南部地区処理場

区域：西山町妙法寺、西山町北野、西山町大坪、
西山町内方、西山町五日市、西山町緑が丘



供用開始年月	平成10年8月
計画処理人口	980人
日平均汚水量	265m ³ /日
処理方式	JARUS-X I型



平井地区処理場

区域：平井



供用開始年月	平成10年8月
計画処理人口	900人
日平均汚水量	243m ³ /日
処理方式	JARUS-X I型



門出地区処理場

区域：高柳町門出



供用開始年月	平成11年4月
計画処理人口	500人
日平均汚水量	135m ³ /日
処理方式	JARUS-I型



岡田地区処理場

区域：高柳町岡田



供用開始年月	平成12年4月
計画処理人口	560人
日平均汚水量	152m ³ /日
処理方式	JARUS-I型



中通地区処理場

区域：与三、矢田、吉井、曾地、飯塚、
花田、曾地新田



供用開始年月	平成12年6月
計画処理人口	2,580人
日平均汚水量	697m ³ /日
処理方式	JARUS-X I型

【農業集落排水施設】



北条地区処理場

区域：南条、本条、北条



供用開始年月	平成14年3月
計画処理人口	2,030人
日平均汚水量	549m ³ /日
処理方式	JARUS-XI型



広田地区処理場

区域：東条、小島、山瀬、旧広田
大広田、西長島、東長島



供用開始年月	平成15年5月
計画処理人口	2,290人
日平均汚水量	619m ³ /日
処理方式	JARUS-XI型



谷根地区処理場

区域：谷根



供用開始年月	平成15年7月
計画処理人口	320人
日平均汚水量	86m ³ /日
処理方式	JARUS-XIV型



二田地区処理場

区域：西山町坂田、西山町鬼王、西山町黒部、
西山町長嶺、西山町西山、西山町和田、
西山町新保



供用開始年月	平成15年11月
計画処理人口	2,580人
日平均汚水量	697m ³ /日
処理方式	JARUS-XIV型



中川地区処理場

区域：西山町田沢、西山町礼拝、西山町伊毛、
西山町藤掛、西山町池浦、西山町二田、
西山町上山田、西山町下山田、西山町尾野内



供用開始年月	平成19年4月
計画処理人口	2,060人
日平均汚水量	557m ³ /日
処理方式	JARUS-XIV型

6 環境負荷低減への取り組み



消化ガス発電

～下水汚泥から電気を生み出す～

柏崎市地球温暖化対策実行計画に基づき、自然環境浄化センターのエネルギーコストの削減と、二酸化炭素排出削減による環境負荷の低減を図ることを目的として、下水汚泥から発生する消化ガスを利用した発電システムが、平成25年2月から稼動しました。

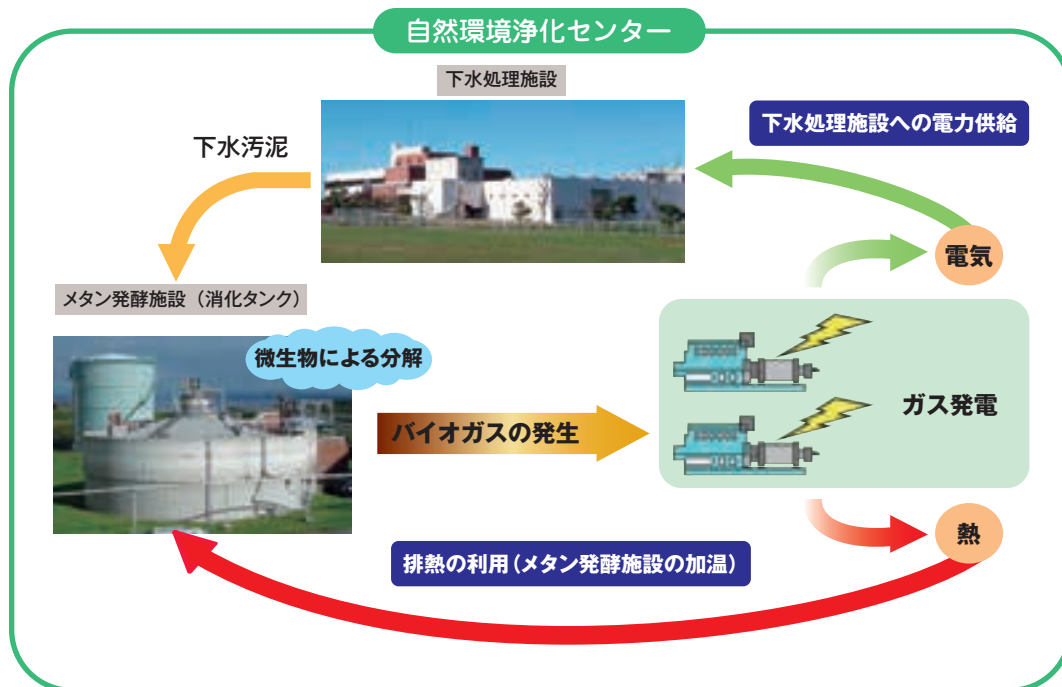
これにより、浄化センターの電気使用量の約3割をまかなうとともに、二酸化炭素の排出を年間約600 t 削減しています。なお発電時に発生する排熱についても消化タンクの加温に有効利用しています。

稼動開始年月日	平成25年2月
形 式	マイクロガスタービン コージェネレーションシステム
発 電 出 力	190kW (95kW×2系列)

バイオマスとは、動物や植物から生まれた、再生できる資源のことです



消化ガス利用のイメージ図





汚泥肥料化施設

～下水汚泥を肥料化し農地へ還元～

柏崎の農業集落排水処理場のうち、広田地区、中川地区では、バイオマス資源の有効利用と、環境にやさしいリサイクル社会形成のため、下水汚泥を発酵または熱分解により肥料化し、使いやすいように造粒・袋詰めして、地元住民を主体に販売しています。



発酵減量機



製品貯留ホッパ



造粒ユニット



小学生による
パッケージデザイン



汚泥発酵肥料を使用した緑のカーテン

肥料化施設概要

処理場地区名	肥料の種類	肥料生産量	生産方法
広田地区	汚泥発酵肥料	9 t / 年	脱水⇒混合⇒発酵⇒成形⇒袋詰
中川地区	汚泥乾燥肥料	6 t / 年	脱水⇒加熱(乾燥)⇒袋詰

7 料金、負担金について

◆公共下水道 受益者負担金

公共下水道は道路や公園と異なり、利用できるのは下水道が整備された区域に限定されます。下水道が整備されると、生活環境が改善され、整備されていない区域に比べて土地の利用価値が高まるなど、その利益を受けるのは下水道の整備された区域内の土地所有者等（受益者）に限られます。

このため、負担の公平という原則から事業費の一部を負担していただくのが「受益者負担金制度」です。

農地や山林などの土地は申請により宅地になるまでの間、受益者負担金の徴収が猶予されています。住宅の建設などにより宅地又は宅地に準ずる土地と認められると、受益者負担金を納付していただくことになります。

◆農業集落排水 受益者分担金

1. 加入分担金

農業集落排水事業の処理区域において、農業集落排水に接続する場合に一戸あたりにつき負担していただきます。

2. 工事分担金

農業集落排水に接続する場合に、加入分担金のほかに公共ます設置等の工事に要する費用の15%を負担していただきます。

◆下水道使用料

下水道への接続工事が完了し、下水道の使用が開始になると、流した汚水の量に応じて「下水道使用料」を納めていただきます。

皆さんから納めていただいた使用料は、ポンプ場や下水処理場の運転、下水管路の修繕などの下水道施設の維持管理費にあてられます。



8 下水道の正しい使い方

下水道の間違った使用は、下水管を詰まらせたり、汚水処理場の機能を損ねたりします。正しく使用して、快適な生活を送りましょう。

◆流してはいけないもの

◇台所から

野菜くずや残飯は燃えるごみとして出すか、生ごみ処理機などで堆肥化し、ガーデニングなどに利用しましょう。天ぷら油などの廃油は新聞紙などで吸い取るか、市販の製品で固め、燃えるごみとして出してください。市の資源物リサイクルセンターでも再利用のための受入れを行っています。



◇トイレから

ティッシュペーパーなどの水に溶けない紙や紙おむつ、タバコ、ガムなどを流さないでください。



◇お風呂から

お風呂や洗面所の排水口にたまりやすい髪の毛は取り除き、下水道に流さないでください。



◇その他の異物や危険物

ビニール、ゴム、アルコール、ガソリン、灯油、シンナーなど、下水管を詰まらせたり、傷めるものは流さないでください。



◆家庭内の排水管やますの点検をしてください

排水管が詰まって困らないように、定期的な点検と掃除を行い、汚水がスムーズに流れるようにしてください。

◆ディスポーザーについて

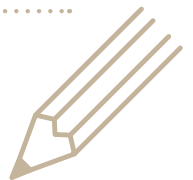
市では(社)日本下水道協会「ディスポーザー排水処理システム性能基準(案)」に適合する評価を受けたものののみ接続を認めています。設置の際にはご注意ください。

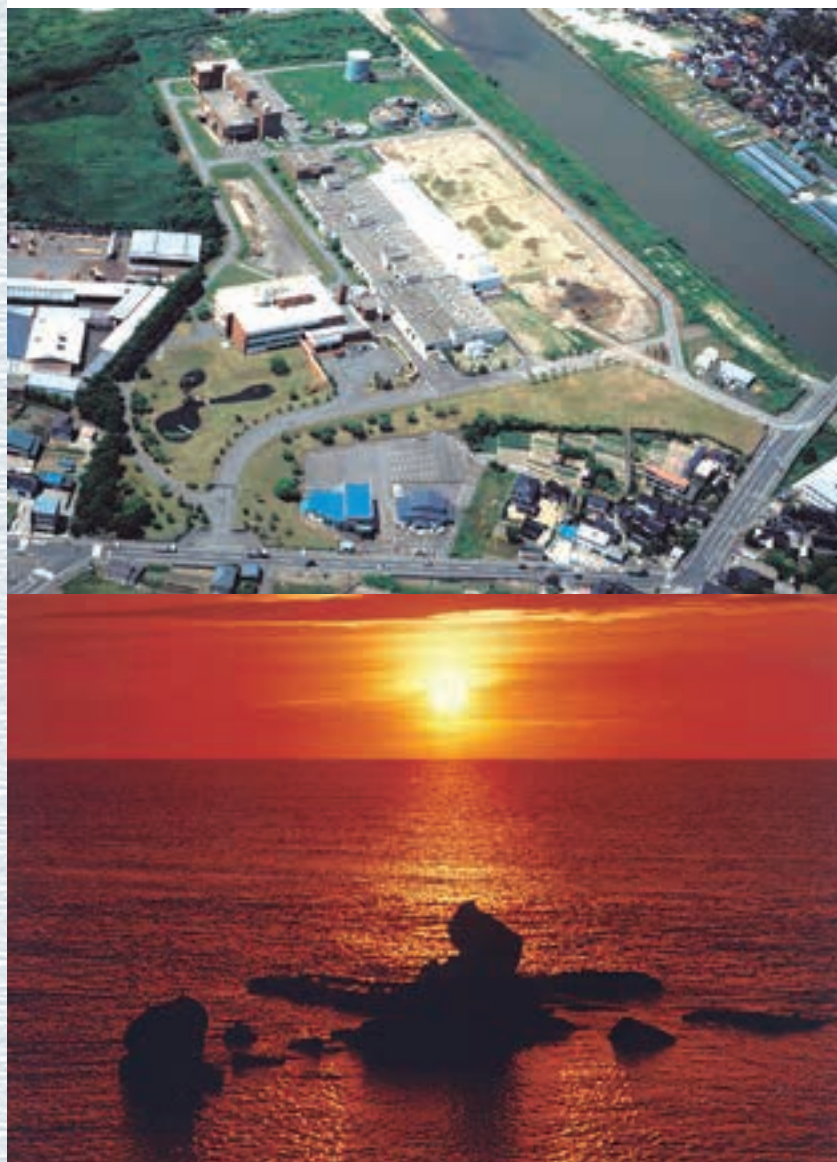
9 下水道事業の沿革

年月 (西暦)	公共・特定環境保全下水道	農業集落排水	その他特記事項
	柏崎処理区 石地処理区	事業着手 供用開始	
S46.10 (1971)	基本計画策定		
S48.3 (1973)			谷根ダム完成 (S48.3)
S49.3 (1974)	第1期事業着手 (214ha)		
S52.7 (1977)	処理場建設に着手		
S53.6 (1978)			梅雨前線豪雨6.26水害
S55.10 (1980)		西山地区 (11.2ha)	
S56.3 (1981)	八坂中継ポンプ場完成		
S56.4	第2期事業着手 (500ha)		
S56.5	柳橋中継ポンプ場、水処理1系完成		
S56.6	一部供用開始		柏崎IC開通 (S56.10)
S58.6 (1983)		柏崎東部地区 (117.0ha)	
S59.11 (1984)		西山地区	
S60.10 (1985)		礼拝地区 (10.3ha)	原子力発電所営業運転 (S60.9)
S61.9 (1986)		向安田地区 (28.0ha)	佐藤池野球場完成 (S61.11)
S62.4 (1987)	第3期事業着手 (845ha)		
S63.8 (1988)		礼拝地区	新潟産業大学開学 (S63.4)
H1.1 (1989)	番神中継ポンプ場完成		
H1.2	水処理2系増設完成		赤岩ダム完成 (H1.3)
H1.7		向安田地区	
H1.12		下田尻地区 (24.0ha)	
H2.4 (1990)		柏崎東部地区	
H2.12		別山地区 (28.6ha)	
H3.9 (1991)		柏崎南部地区 (113.0ha)	総合体育館完成 (H3.4)
H3.11	第4期事業着手 (1,184ha)		
H4.6 (1992)		上条地区 (61.0ha)	
H4.7		下田尻地区	
H5.6 (1993)		北鯖石地区 (130.0ha)	
H5.7		別山地区	アクアパーク完成 (H5.7)
H6.3 (1994)	基本計画策定		
H6.7		柏崎南部地区	
H6.8	事業着手 (46ha)	上条東地区 (40.0ha)	
H6.9	柏崎雨水ポンプ場完成		
H7.4 (1995)		門出地区 (22.0ha)	新潟工科大学開学 (H7.4)

年月 (西暦)	公共・特定環境保全下水道	農業集落排水	その他特記事項
	柏崎処理区 石地処理区	事業着手 供用開始	
H7.5		平井地区 (38.0ha)	
H7.6		上条地区	
H7.12		西山南部地区 (59.0ha)	
H8.3 (1996)	水処理2系設備増設完成		
H8.6		中通地区 (167.0ha)	ソフィアセンター完成(H8.7)
H9.4 (1997)		岡田地区 (22.0ha)	
H9.6		北鯖石地区	
H9.7		上条東地区	
H9.12	第5期事業着手 (2,016ha)		
H10.6 (1998)		北条地区 (106.0ha)	
H10.8		平井地区, 西山南部地区	
H11.4 (1999)		門出地区	
H11.5	処理場供用開始	広田地区 (114.0ha)	
H12.4 (2000)		岡田地区	
H12.6		中通地区	
H12.7		谷根地区 (18.0ha)	
H13.4 (2001)	事業拡大 (95ha)		
H13.7			中通発酵肥料登録
H14.1 (2002)		二田地区 (186.0ha) 別山北部地区 (22.8ha)	
H14.3		北条地区	
H14.12	監視汚泥棟増設完成		
H15.5 (2003)		広田地区, 別山北部地区	
H15.7		谷根地区	
H15.11		中川地区 (130.0ha) 二田地区	西山地区を二田地区に統合
H15.12	第6期事業着手 (2,212ha)		
H16.3 (2004)			下田尻地区の一部を公共下水道に接続、広田発酵肥料登録
H16.10			中越地震 (H16.10.23)
H17.2 (2005)		下田尻地区拡大事業完了 (27.0ha)	
H17.4	水処理3系増設完成		
H17.5			柏崎市高柳町西山町合併
H19.3 (2007)	面整備の概成		向安田地区を柏崎東部地区に統合

年月 (西暦)	公共・特定環境保全下水道	農業集落排水	その他特記事項
	柏崎処理区 石地処理区	事業着手 供用開始	
H19. 4		中川地区	礼拝地区を中川地区に統合 地方公営企業法全部適用
H19. 7			中越沖地震 (H19. 7.16)
H21. 3 (2009)	処理場中越沖地震災害復旧完了		
H21. 7	事業区域の変更 (2,289ha)		
H22. 3 (2010)		中川地区の事業完了	集落排水事業の完成
H22. 8			中川乾燥肥料登録
H24. 3 (2012)	鵜川左岸第5雨水ポンプ場完成		
H25. 2 (2013)	消化ガス発電稼働		
H26. 3 (2014)		柏崎南部地区機能強化事業完了	
H27. 3 (2015)	鵜川右岸第2雨水ポンプ場完成	上条地区機能強化事業完了	
H28. 3 (2016)		北鯖石地区機能強化事業完了	
H30. 3 (2018)	事業区域の変更 (2,437ha) 鵜川左岸第5雨水ポンプ場ポンプ1台増設	上条東地区機能強化事業完了 平井地区機能強化事業完了	農業集落排水区域 (向安田、 柏崎東部、下田尻) を公共下 水道に編入
R 1. 3 (2019)	源太川左岸第2雨水調整池完成		
R 2. 3 (2020)		別山地区機能強化事業完了	別山北部を別山に統合
R 2. 6	柏崎雨水ポンプ場耐震補強工事完成		
R 3. 3 (2021)		西山南部地区機能強化事業完了	
R 4. 3 (2022)		中通地区機能強化事業完了	
R 5.11 (2023)	鵜川左岸第5雨水調整池完成		





～ きれいな海 未来へ残す 下水道 ～

柏崎市上下水道局

〒945-0053 新潟県柏崎市鏡町1番11号

経営企画課

TEL(0257)22-4111 FAX(0257)22-4100

建設課

TEL(0257)21-2260 FAX(0257)22-9350

施設維持課

TEL(0257)22-6116 FAX(0257)22-9350

〒945-0071 新潟県柏崎市安政町1番36号

自然環境浄化センター

TEL(0257)24-4321 FAX(0257)24-4493

〒945-0845 新潟県柏崎市新赤坂1丁目1番62号

赤坂山浄水場

TEL(0257)22-0007 FAX(0257)22-0169